

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	オープンビルディング小委員会		主 査 名：南 一誠 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会 (構法計画運営委員会)		委員長名：菊池 成朋 主 査 名：角田 誠
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築分野における世界的な課題として、膨大な既存建物のストックを、環境負荷の少ない手法で長期に渡って効果的に改修・転用する技術体系を確立することが求められている。本小委員会では、建築生産の全体の枠組みの中で、国際的に確立されたオープンビルディングの計画手法が担うべき役割を明確にすることを設置目的とする。2013 年度の主な活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長期利用が可能な集合住宅の計画技術（新設、既存の両方を対象） 2. 既存住宅ストックの活用手法（法制面、技術面の両方を検討） 		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有り (3名)</p> <p>主査 南 一誠 (芝浦工業大学) 幹事 江口 亨 (横浜国立大学)、小畑 晴治 (開発構想研究所)、近角 真一 (集工舎) 委員 安達 好和、忍 裕司、門脇 耕三、澤田 誠二、高木 淳一郎、藤本 秀一 宮坂 公啓、村上 心、森田 芳朗、安枝 英俊</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	CIBW104 対応WG (主査：村上心)：CIB の W104 は、オープンビルディングに関する国際会議を毎年開催しており、本小委員会委員を含む日本人研究者が参加してきた。本 WG では、国際会議開催に関連する協力などの対応を行う。		
2013 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s13/	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 立川市旧市庁舎を PPP によりコンバージョンして開設された立川市子ども未来センターの現地調査、関係者へのヒアリング (12 月 17 日) 2. CIBW104、Kendall 教授と共同して学生ワークショップ開催 (7 月 5～26 日)
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東京、名古屋、関西圏に委員が分散しており、委員会開催回数が不足しがち。 2. 国際会議 CIB W104 への参加人数増加、国際学会誌 OHI への投稿論文数増加。